

微生物の消長試験（接種試験・植菌試験）

● はじめに

「食品や飲料などの添加物のレシピ(処方)を見直したので、その効果を調べたい」、「製品に微生物が混入した際に、微生物の増減や生存する期間を知りたい」といったご要望はございませんか？弊財団ではこのようなご要望にお応えするべく「微生物の消長試験」をご用意しております(チャレンジテスト又はスパイク試験とも呼ばれます)。食品や飲料などに試験菌を意図的に接種・混合し、経時的に生菌数を確認することで、微生物汚染による製品の腐敗や品質劣化のリスクを判断するうえで必要な科学的・客観的データをご提供いたします。

● 試験法について

規格等で定められた試験法はございませんので、食品などの種類、性状(水分活性、pH、塩分濃度など)、保管環境に応じて試験設計させていただいております。

弊財団では 300 種類以上の菌株を保有しており、これまでに 500 件以上の実績がございます。

★試験菌の一例：[こちらを参照ください。記載の菌以外も保有していますので、ご相談ください。](#)

お客様の評価イメージを踏まえてしっかりとお打ち合わせをしたうえで試験計画を作成し、試験条件や試験料金にご納得いただいてからご依頼いただけます。

まずはお気軽にお問い合わせください。

● 試験結果について

試験結果は、各測定ポイントでの生菌数をご報告いたします。

試験結果表(イメージ)

試験菌	生菌数(/mL)				
	開始時	1 週間後	2 週間後	3 週間後	4 週間後
黄色ブドウ球菌	5.1×10^3	1.0×10^3	2.0×10^2	50	<10

保存温度：30℃

<10：検出せず

● お打ち合わせで必要な情報

検体の種類・性状(水分活性、pH、塩分濃度等)、検体数、試験菌種、保存温度、保存期間など

● 検体必要量・価格（税別）

試験条件によって変動いたしますので、詳細はお問い合わせください。

● 納期（目安）

約 1 か月～

（結果が出次第速報をお知らせいたします。）

試験条件、ご依頼のタイミングによって変動いたしますので、詳細はお問い合わせください。